

2019（令和元）年度
知床半島ヒグマ管理計画アクションプラン実施結果（確定版）

* 大きな変化のあった項目や直近の話題のみ抜粋

【ゾーン 1～4（特定管理地以外）】

■方策 6

仮設電気柵等による行動管理

⇒地域住民（漁業者・農業従事者等）へ仮設電気柵の貸出や導入支援を実施。

■方策 7・26・S1・S3

利用者や地域住民の安全を確保しながら世界自然遺産の利用の場を確保するため、特定管理地（公園内車道沿線）におけるヒグマ出没時の対応方針について、試験的変更を実施。

■方策 9

公園拠点施設等や野外におけるレクチャー・情報提供・指導を行える体制整備

⇒道の駅ウトロでルール・マナーキャンペーン（ステッカーの配布）を実施。

⇒羅臼町で観光施設周辺における危険事例等の周知を実施。

■方策 1 2

適切・不適切な行動の明示と、利用者が行動を選択するうえで必要なそれらの情報の周知や普及啓発（ホームページ、SNS、パンフレット、拠点施設内の展示の活用）。

■方策 2 3

レクチャーや、各種メディアによる情報提供

⇒施設内でのリアルタイム出没情報の提供や SNS やウェブページを活用した情報発信を継続して実施。

⇒新規情報発信媒体（Twitter、Instagram）の立ち上げ

■方策 1 4

野外看板の設置、広報

⇒知床世界自然遺産・登録地内国道 334 号線におけるヒグマ対策について

- ・ヒグマ普及啓発看板の永久設置検討、看板の増設、英語表記等。
- ・国道の道路情報電子掲示板への普及啓発文言の掲示を実施。
- ・広報誌による普及啓発、道路管理者から得られたヒグマ情報の提供。

■方策 1 6

強制力のある利用者のコントロール

■方策 S 4

自然公園法第 23 条利用調整地区制度に基づいた利用調整。

⇒知床五湖地上遊歩道を、より安全で分かりやすい利用、かつ、安定的な開放を実現するため、秋期自由利用期を植生保護期とすることとなった。

■方策 2 0

野営場におけるクマ対策型ゴミ箱の設置

⇒ウトロ野営場クマ対策用ゴミステーション維持管理、食糧保管庫を検討。令和 2（2020）年度に食糧保管庫の設置を予定。

■方策 2 6

利用者の避難誘導（事故発生時）

■方策 3 9

地域住民の避難誘導、指導等

⇒関係行政機関でヒグマ人身事故発生時の対応方針（知床半島ヒグマ管理計画対象地域版）（案）を作成。

■方策 2 6

降車抑止等の指導

⇒国道管理者と現状の状況を共有、恒久看板の設置を調整中。

⇒道道は担当者と意見交換、対応を調整中。

■方策 2 8

住民との定期的な情報交換の場の設定

⇒羅臼町で町内会長会議を開催。また町民参加型の草刈り活動を実施。

■方策 3 1

定期チラシ発行

■方策 2 8

ゴミや食料（干し魚等）の管理に関する指導

⇒羅臼町の広報誌にチラシを掲載。

■方策 3 6

住民居住地域におけるクマ対策を意識した家庭ゴミ収集ステーション、収集容器等の普及

⇒ヒグマ対策ゴミステーションの設置について

- ・斜里町ウトロ地区に、ヒグマ対策ゴミステーション 3 基設置。

【特定管理地】

■方策 S 1

岩尾別川温泉道路における駐車禁止区間の設定、監視員ボックスの設置等地元関係機関連携によるサケ遡上期のカメラマン対策（斜里町・環境省・林野庁・知床財団）。

⇒マスの遡上数が少ないため、温泉道路沿いでのヒグマの目撃件数が少なかった。そのため、監視員ボックスを設けなかった。ただし、道道の岩尾別連続カーブおよび岩尾別橋周辺で、河口にいるヒグマを見るためのクマ渋滞が何度も発生。特に連休は渋滞がピークに達し、子どもが車に轢かれそうになるなどの危険な状況も発生した。

■方策 S 3

車両での追跡撮影、長時間駐停車によるヒグマ出没待ちの自粛要請（環境省、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町、知床財団）。

⇒追跡撮影や撮影のための出没待ち行為の自粛要請については具体的な進展なし。道路管理者（網走開発建設部、網走建設管理部）とのやり取りは継続、道路管理者が発行するチラシにヒグマに関する注意を掲載した。また国道については国道 334 号路線連絡会議の中でも餌やりや撮影停車による交通障害等が取り上げられた。

■方策 S 1 1

知床五湖利用調整地区に準じたレクチャーの実施や安全と適正な利用を担保する制度の導入。

⇒具体的な検討に至らず。受講者の費用負担も含めた制度を構築しなければ、常時レクチャーする体制は組めない。

■方策 S 1 8

河口域でのサケマス釣り利用に関して、釣り利用を前提とした管理をするか、あるいは制限するか、その扱いについて方針を決定する（環境省、林野庁、北海道、斜里町、知床財団）。

■方策 S 1 9

カメラマン・釣り人を対象にしたガイドライン作成等、普及啓発の推進（環境省、林野庁、北海道、斜里町、知床財団）。

⇒幌別川河口釣りガイドラインが作成され、知床ヒグマ対策連絡会議で公認された。